

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

本年の道東マイワシについて

事務局 南部 章

(一財)日本水産油脂協会では例年8月に「水産油脂資源講演会」を開催しておりますが、本年はコロナ禍の影響で感染予防対策の観点から、無観客で開催しました。講演会の内容は録画収録し、後日、オンラインで公開させていただきましたが、この中から、DHA、EPA と関わりの深いマイワシの資源動向について内容を少しご紹介させていただきたいと思っております。講師は、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産研究所の由上隆嗣先生にお願いしました。

最近、道東におけるマイワシ漁獲量が増加していることは、既にご存知かと思っております。

ここで皆さんが関心を寄せているのは、マイワシの漁獲量の増加はどこまで期待できるのか。そして、この資源状況は何時まで続くのかと言う点に集約されるかと思っております。

どうしても、1980年代のマイワシ豊漁期の再現を期待される方も多いかと思っております。マイワシは古い記録などからも資源変動を繰り返す魚としてよく知られておりますが、この度はデータとして海底に堆積したマイワシの鱗の量が示されました。1980年代の資源状況は過去600年の間でも最高レベルに増加したと推定されるようです。その後は急速に資源量が減少し1995年以降は低水準で推移しましたが、最近のマイワシの増加傾向は2010年代に資源量の緩やかな回復で始まりました。2015年にはマイワシにとって海洋環境がよくなり、それ以降は新規加入量がやや高くなりましたが好適な海洋環境は継続せずに、急激に増加できない状況にあります。海洋環境が整わない状況で資源が増加していることから、マイワシの成長悪化が言われております。

1970年代後半は寒冷レジームにシフトし、アリューシャン低気圧も強まって海水の鉛直混合により栄養塩が海面近くまで上昇し、春季には栄養塩が豊富な親潮の面積が拡大して、植物プランクトンの増加とともに海の生産力が高まり、結果としてマイワシ資源が爆発的に増加しました。

この当時の状況と比較して、最近では冬季のアリューシャン低気圧が強まらず、春季の親潮面積の拡大も見られず海洋環境がマイワシにとって必ずしも好適な状況ではないことが示されております。2020年、2021年と釧路沖ではマイワシが水揚げされておりますが、餌の不足により成長が悪いため脂肪含有量の少ない状況が続いております。

マイワシ資源の状況は現在のところ、1980年代のような資源水準に達することは難しいようで、DHA、EPAに関わる人にとりましては残念な結果になりそうです。

〈幹事会のうごき〉

令和3年11月11日(木)に、第8回幹事会をZoomで開催した。

- ・10月21日に開催された「第22回公開講演会」について、出席者数や収支の報告があった。
- 併せて、アンケート集計の説明があった。
- ・今後の講演会の開催方法について意見が述べられた。

〈2021年10月の魚油の輸入〉

出典:財務省貿易統計

2021年10月			2021年1月～10月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
1,871	374,913	200.4	20,811	4,684,940	225.1

〈魚油の国際価格〉 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2021年10月	2021年9月	2020年10月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	2,200	2,170	1,800

〈情報〉チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2021年第45週	2021年第44週	2021年計(第45週まで)	2020年計(第44週まで)
チリ	31,139	26,685	1,530,845	1,418,683
ペルー	1,427	0	3,087,636	2,545,247